

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～20℃台を示し、やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり27トンの水揚げで、前週の6倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり0.4トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の32%（前年を下回った）。
- イカ釣—シケのため出漁日数が少なかった。スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり20kgの水揚げで、前週の59%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり600kgの水揚げ。（前年を下回った）。
- 定置網—五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり587kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ウスバハギなどが1日1統当たり27kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり137kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区ではブリが1日当たり533kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/20～1/24の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、浜田沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、山口沖～隠岐諸島周辺で操業。鳥取県西部（沖合船）1日延5隻、総計187箱、1航海最高57箱、平均37.4箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～40入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-5号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」「第4-6号 五島海区のキビナゴの資源評価」を公表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>